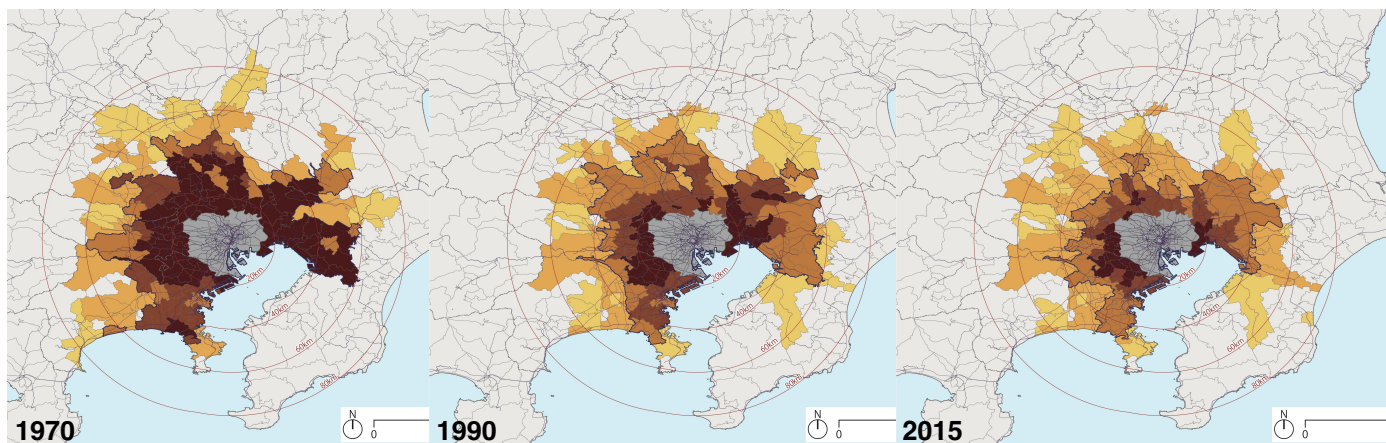
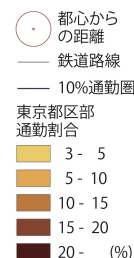


## 埼玉県内の空き家



都心通勤圏の比較



## 都心通勤圏の縮小

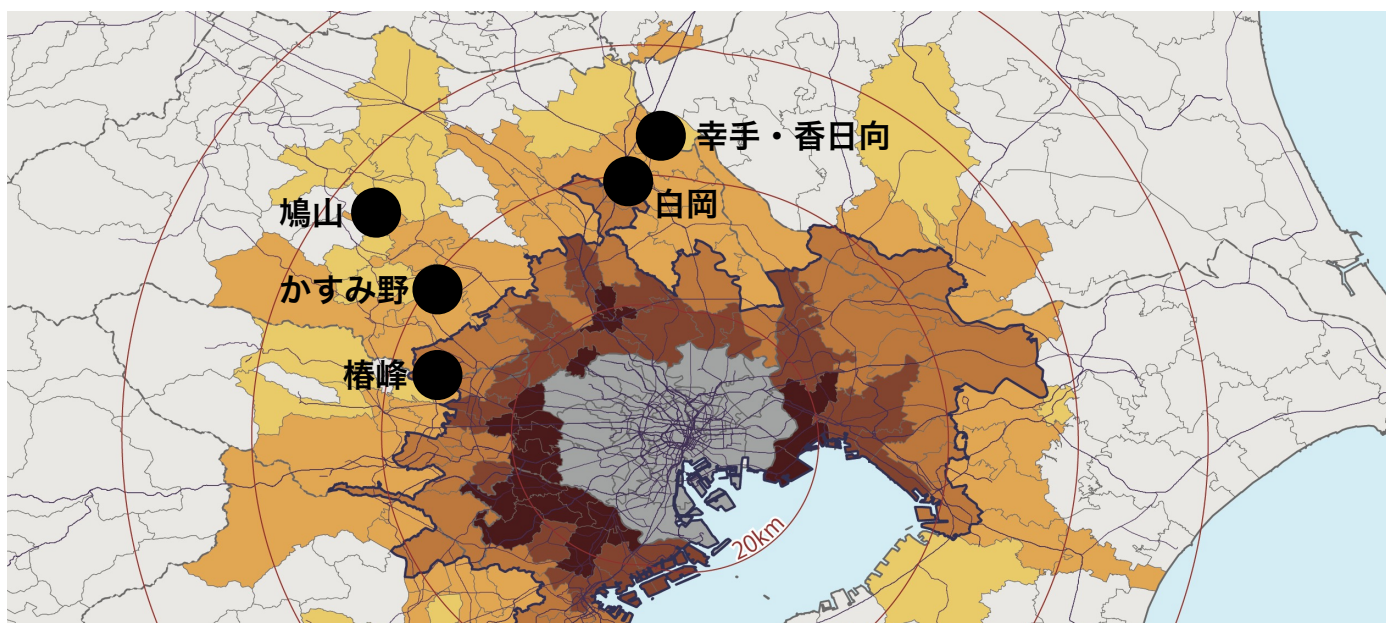
- ・ 1970年(左)、1990年(中)、2015年(右)と移行するに従って都心一極集中傾向は弱くなっている
- ・ 10%通勤圏を1つの指標とし、東京駅と新宿駅を都心と定義して都心からの距離との関係を見ると1990年代は都心60km圏まで拡大しているが2015年には40kmまで縮小している

図版作成・分析：馬場弘樹 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 博士課程)

利用データ：平成27年 平成2年 昭和45年国勢調査

国土数値情報「平成28年度鉄道時系列」「平成28年行政区域」

参考文献：桐村喬・中谷友樹・矢野桂司(2011) 市区町村の区域に関する時空間的な地理情報データベースの開発 GIS: 理論と応用19(2), pp.139-148.



## 持続可能な郊外住環境実現プロジェクト(2015-2017年度)

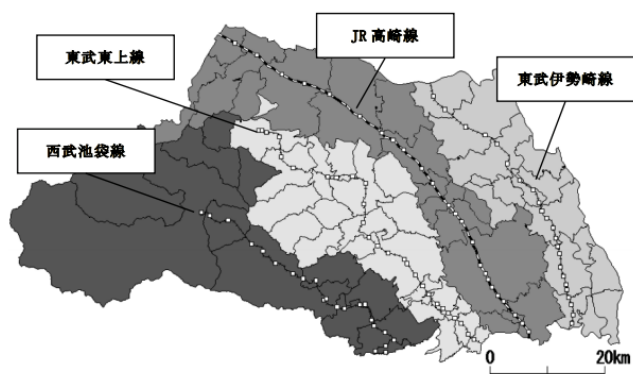
- ・ 彩の国さいたま広域連合政策課題共同研究
  - ・ 2017(H29)年度研究対象：白岡・幸手香日向・鳩山・川越かすみ野・所沢椿峰NT
- 社会実験等のプロジェクト(H29年度彩の国さいたま人づくり広域連合政策課題共同研究関係およびその波及)
- ・ 1/21(土) 鳩山NT：子どもの居場所創出に向けた社会実験「鳩山子どもマルシェ」
  - ・ 1/21(土) 幸手香日向NT：空き店舗活用社会実験「香日向テラス」
  - ・ 1/24(水) 白岡NT：集会所でのコミュニティ・マルシェ創出社会実験「三丁目カフェ」→「一丁目カフェ」へ
  - ・ 1/25(木) かすみ野NT：周辺地区住民との連携をめざした講演会
  - ・ 2/1(木) 椿峰NT：椿峰中央公園での公園活用社会実験→「つばきの森のマーケット」→定期開催へ



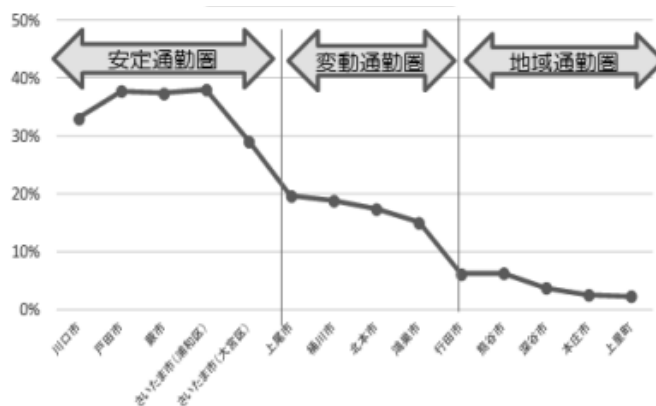
# 埼玉県消滅可能性ニュータウンランキング

鳩山・日高・坂戸など県西部の丘陵地に多く立地

順位	名称（地区名）	市町村	開発主体	通勤圏	期間（年）	老年化指数
1	鳩山ニュータウン	鳩山町	民間	変動	8	7.5
2	ラフィーナ幸手イトピア	幸手市	民間	変動	5	6.8
3	日高市こま武蔵台	日高市	民間	変動	10	6.7
4	西坂戸団地	坂戸市	民間	変動	4	5.5
5	鶴舞団地	坂戸市	民間	変動	3	5.4
6	志木ニュータウン	志木市	民間	安定	17	4.8
7	小川パークヒル	小川町	民間	地域	13	4.7
8	高坂ニュータウン	東松山市	都市機構	変動	11	4.2
9	松が丘	所沢市	民間	安定	22	3.5
10	さつき平団地	三郷市	民間	安定	8	3.3



埼玉県内の鉄道4路線と地域区分の設定



JR高崎線沿線・地域の都内通勤率と通勤圏3区分

出典 彩の国さいたま広域連合H27年度政策課題共同研究「埼玉県の空き家の課題パターン抽出とその解決策の提言」報告書

## 「変動通勤圏」に空き家と高齢者が集中発生する

- ・ 広域行政単位ではなく鉄道沿線単位で地域を再設定し、状況を把握
- ・ 丘陵地に大規模NTの開発が進んだ西武池袋線・東武東上線と旧街道沿いに敷設された路線では状況が異なる
- ・ 埼玉県内で鉄道沿線自治体の都内通勤率のデータをみると、大きく3段階に分かれる
- ・ 都内通勤率40%程度の「安定通勤圏」と10%以下の「地域通勤圏」のあいだを「変動通勤圏」と定義
- ・ 「変動通勤圏」=将来高齢者と空き家が集中的に発生するであろう地域
- ・ JR高崎線でいうと上尾から行田までの地域がそれにあたる(=圏央道沿線自治体)
- ・ 現状では住宅政策・都市政策ともに対象化されているとはいいがたい